

Advanced Valuable Communication の社会実装

2023年05月26日

一般財団法人AVCC
理事長 久保田 了司

令和4(2022)年

Society 5.0

Advanced Valuable Communication Center
(一財) AVCC



平成10(1998)年

Society 4.0

Advanced Visual Communication Center
(財) 高度映像情報センター



昭和37(1962)年

Society 3.0

Audio Visual Consultant Center
(財) 視聴覚コンサルタントセンター

詳しくは以下をご覧ください

R5年度事業計画書 https://www.avcc.or.jp/console/wp-content/uploads/2023/05/2023_keikakusho.pdf



R5年度収支予算書 https://www.avcc.or.jp/console/wp-content/uploads/2023/05/2023_yosansho.pdf



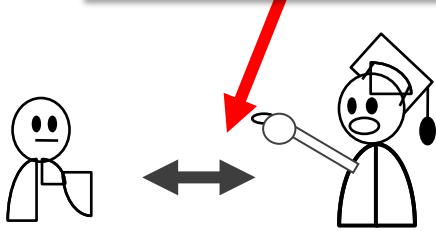
1970年頃

コミュニケーション, 4つのパターン

提唱者: 藤田廣一(元慶應義塾大学理工学部長)

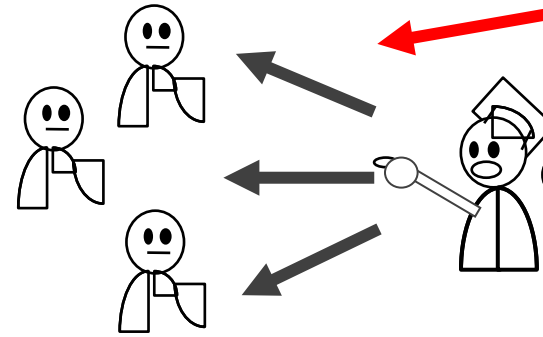
【1】 一対一 (対話型)

郵便・電話(1870頃~)



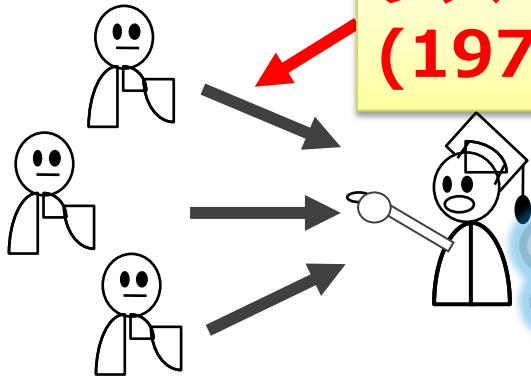
【2】 一対多 (マスコミ型)

映画(1900~),
テレビ(1953~)



【3】 多対一 (逆マスコミ型)

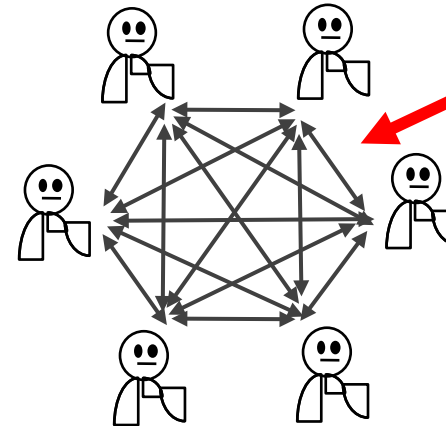
レスポンスアナライザ
(1970~)



マスコミ型の
質を改善する

【4】 多対多 (全員議論型)

時間的空間的 制約
補助手段欠如



仲間意識
連帯感の源泉

Now

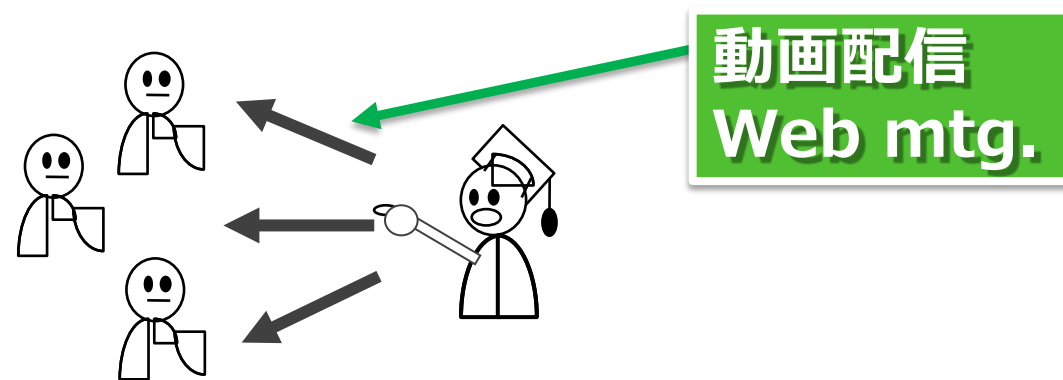
コミュニケーション、4つのパターン

デジタル社会「RealとVirtualの融合」

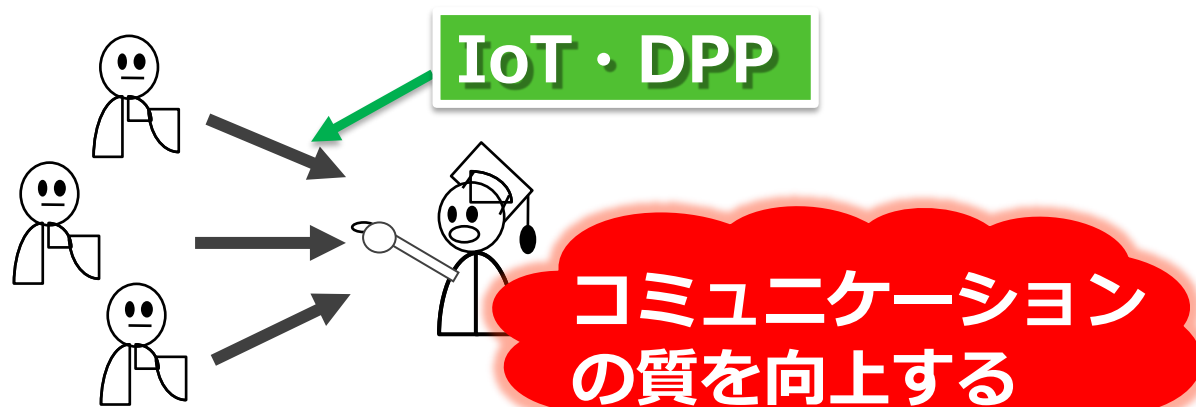
【1】 一対一（対話型）



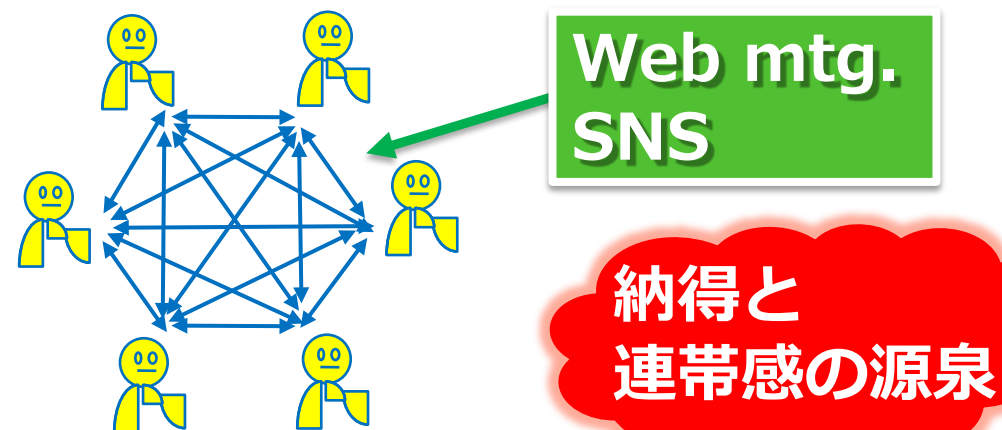
【2】 一対多（マスコミ型）



【3】 多対一（逆マスコミ型）



【4】 多対多（全員議論型）



Advanced Valuable Communicationの必要条件

Society 5.0 デジタル社会

21世紀前半～



第4次産業革命

DX (デジタルトランスフォーメーション)
AI IoT ブロックチェーン

- 誰も置き去りにしない
- 情動的健康的維持
- コミュニケーションの質の向上
相手に共感、自己表現と他者理解
AI・IoTと人間のコミュニケーション
バーバル+ノンバーバルの活用
- 多対多コミュニケーションの実践

自治体DX推進支援事業

イノベーション企画部

部長 菅沼田 正嗣

日本のDX推進状況

- 自治体DX推進計画／手順書
- ガバメントクラウド
- デジタル田園都市国家構想

自治体DX推進計画

総務省では、令和2年12月25日に、地方自治体が、情報システムの標準化、行政手続のオンライン化などについて計画的に取り組むための「自治体デジタル・トランスフォーメーション（DX）推進計画」を策定（現在は、「デジタル庁」が主管）。

自治体DX推進計画の概要等

- ・ 2021年1月から2026年3月まで。
- ・ 「ガバメントクラウド」の活用に向けた検討を行う。他、デジタル庁の設置など国の動向を反映させるよう適宜見直しを行う。
- ・ 総務省は、国の施策展開を踏まえつつ、業務改革（BPR）を含めた標準化等の進め方について、「自治体DX推進手順書」を提示する。

自治体が特に重点的に取り組む事項

1

自治体の情報システム
の標準化・共通化

2

マイナンバーカード
の普及促進

3

自治体の行政手続き
のオンライン化

4

自治体の AI・RPA
の利用推進

5

テレワークの推進

6

セキュリティ対策の徹底

自治体DX推進手順書

「自治体DX推進計画」を踏まえ、自治体が着実にDXに取り組めるよう、令和3年7月に「自治体DX推進手順書」を作成

自治体DX推進の手順

ステップ0 DXの認識共有・機運醸成

- ・DXの実現に向け、首長や幹部職員によるリーダーシップや強いコミットメント
- ・全職員のDXの基礎的な共通理解 等

ステップ1 全体方針の決定

- ・ビジョンと工程表で構成される「全体方針」を決定・広く共有 等

ステップ2 推進体制の整備

- ・DX推進担当部門を設置、各部門と緊密に連携する体制を構築
- ・人事研修担当部門と連携
- ・DX推進リーダーの育成／外部人材活用 等

ステップ3 DXの取組の実行

- ・「PDCA」サイクルによる進捗管理 等

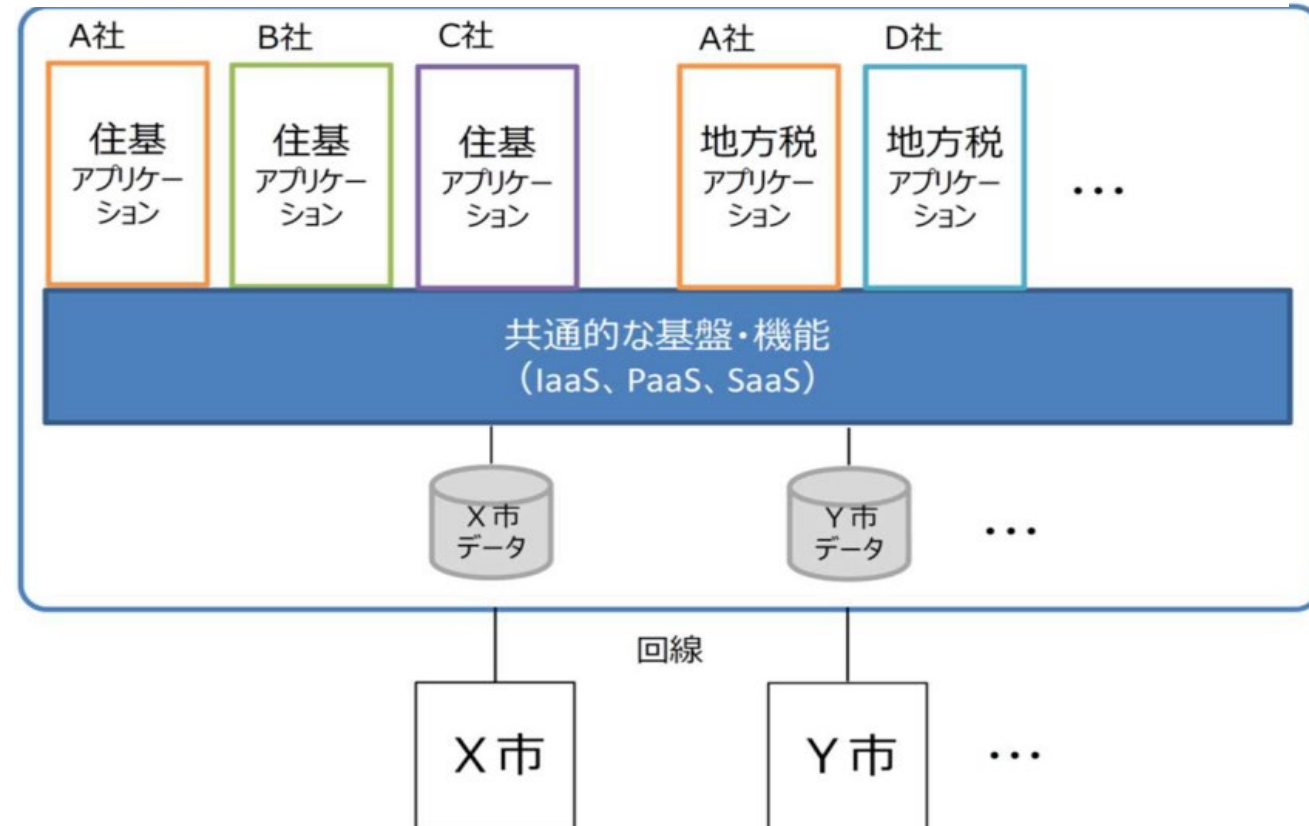
ガバメントクラウド

自治体20業務を、いわゆる「ガバメントクラウド」を利用し、標準化された共通仕様の新システムへの移行が進められています。原則2025年度末までの実施が目標として掲げられています。

「移行対象の自治体20業務」

- ・ 住民基本台帳関連業務 (3業務)
- ・ 税関連業務 (4業務)
- ・ 国民健康保険関連業務 (1業務)
- ・ 障害者福祉関連業務 (1業務)
- ・ 介護福祉関連業務 (2業務)
- ・ 児童／子育て支援関連業務 (3業務)
- ・ 戸籍関連業務 (2業務)
- ・ その他業務 (3業務)

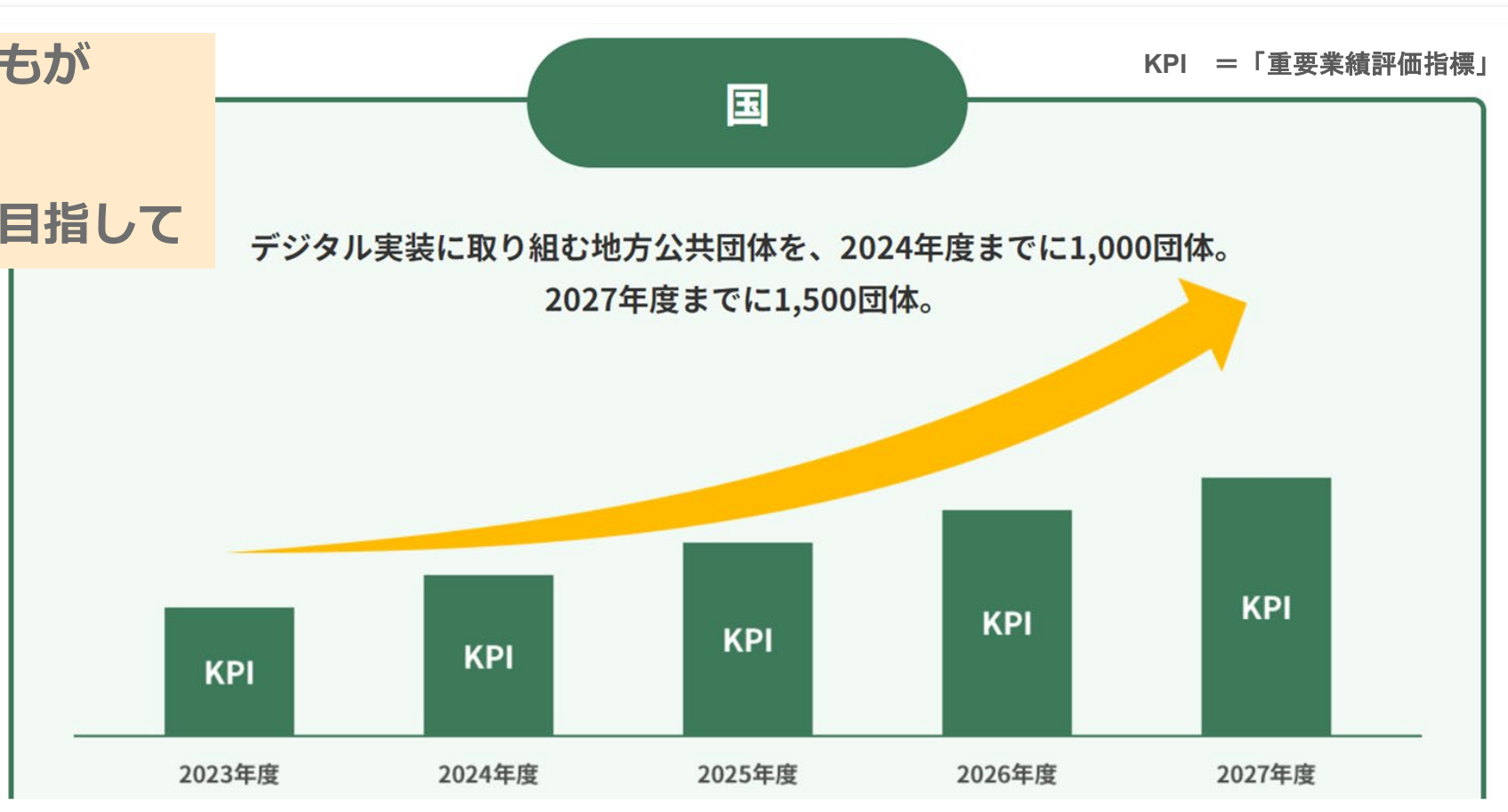
「ガバメントクラウドの構成イメージ」



デジタル田園都市国家構想

デジタルの力で、地方の個性を活かしながら社会課題の解決と魅力の向上を図ります。
そして、「地方に都市の利便性を、都市に地方の豊かさを」を実現して、全国どこでも誰もが便利で快適に暮らせる社会を目指します。（内閣官房ホームページより）

全国どこでも誰もが
便利で快適に
暮らせる社会を目指して



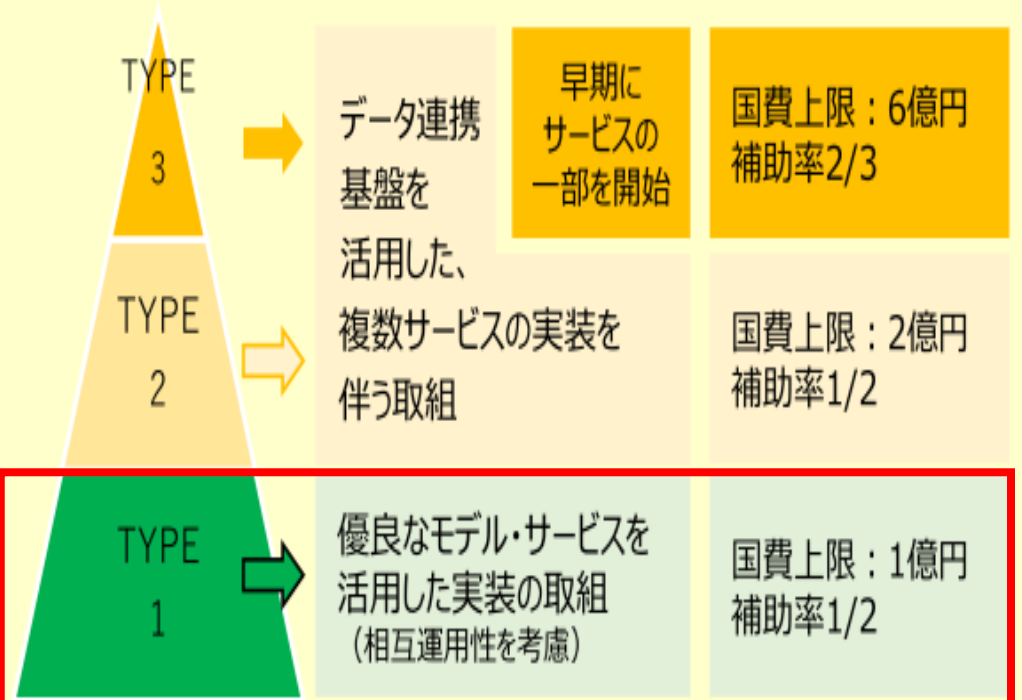
- ▶ 今年度事業予算1270億のうち「1200億」が交付金事業
- ▶ 他地域の優良モデル等を活用した取組（TYPE1） ※総務省よりタイプ別事例集を発行
- ▶ TYPE1の事例としては、防災用GIS・防災情報システム・防災アプリ・防災用途ドローン等が対象

1. デジタル田園都市国家構想実現に向けた総合的な支援

1,200億円+事項要求（1,000億円）

- ▶ 地方創生推進交付金、地方創生拠点整備交付金及びデジタル田園都市国家構想推進交付金を、新たに「デジタル田園都市国家構想交付金」として位置付け、構想の実現に向け分野横断的に支援する。
- ▶ 本年末に「まち・ひと・しごと創生総合戦略」を抜本的に改訂し、「デジタル田園都市国家構想総合戦略」を策定すること等を踏まえ、「デジタル田園都市国家構想の実現を加速化するための経費」を事項要求する。

<TYPE別の内容>



AVCCの自治体DX推進事業

(1) 自治体DX推進計画・手順書

▶ 地域情報化計画（DX推進計画）策定支援

(2) 自治体情報システムの標準化・共通化（ガバメントクラウド）

▶ 情報システム開発支援／情報通信基盤コンサルタント業務

(3) デジタル田園都市国家構想

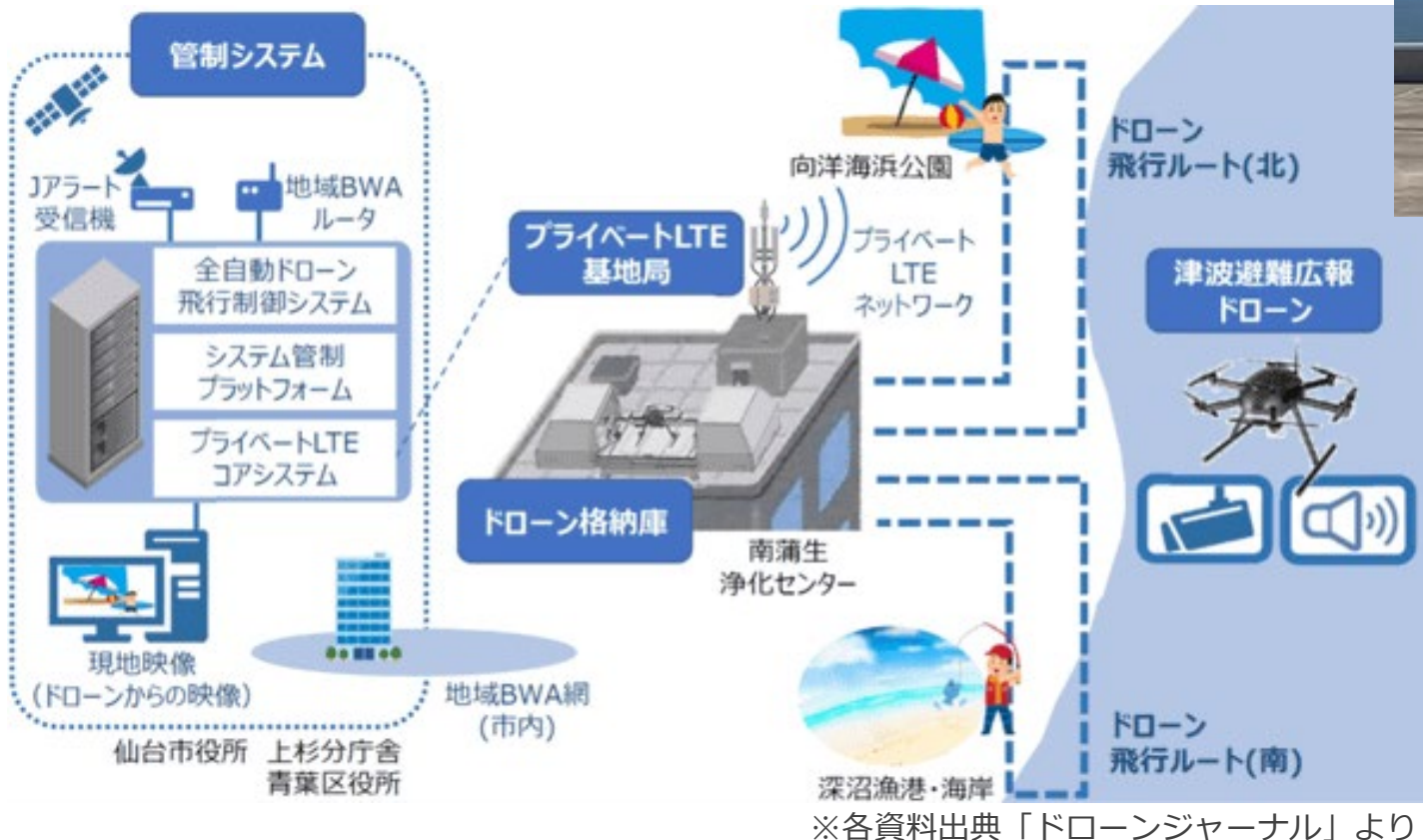
▶ 防災分野（防災情報システム・防災アプリ・ドローン活用等）を中心とした支援

D X 事例紹介

- ドローン（仙台市）
- AI（渋谷区）
- Chat GPT（横須賀市）
- sXGP（東京都下水道局）

自動運航ドローンを使用した津波避難広報

仙台市では2022年10月より「津波避難広報ドローンシステム」の本格運用を開始。同システムは、Jアラート（全国瞬時警報システム）と連動してドローンを自動運航し、津波避難広報を実施する。



参加企業	JVにおける担当業務
日立国際電気 (JV代表)	<ul style="list-style-type: none"> プロジェクト全体取りまとめ システム管制/プライベートLTEシステムの構築
ノキアソリューションズ&ネットワークス	<ul style="list-style-type: none"> プライベートLTE機器
ブルーイノベーション	<ul style="list-style-type: none"> ドローン本体 運航・管理システム
アンデックス	<ul style="list-style-type: none"> 地域BWAとプライベートLTEの接続、免許申請

SNSをAI分析し災害救援支援

渋谷区では、災害発生時にツイッターやフェイスブック等、SNS上の大量の投稿をAIで分析・要約して救援活動の効率を高める、SNS情報分析システム「Spectee（スペクティ）」を導入しています。AIでSNSでの投稿をリアルタイムで正確に分析・整理できれば、住民の最新ニーズを正確に把握できます。

また、渋谷区では新庁舎移転に伴い、災害対策室を新設しています。大型LEDモニタの導入や音響設備の更新と共に、防災情報システムを導入し、災害時の情報収集から情報共有、区民への情報配信の強化を行っております。

移転に伴う防災設備の移転と災害対策室の設計はAVCCが行い、防災情報システムは、東京ガスエンジニアリングソリューション(株)様で導入しています。



渋谷区災害対策室 (110インチLEDモニタ x3)

Spectee（スペクティ）検索表示画面

例文や地名、キーワード等で検索可能



(Spectee社ホームページより転載)



自治体での「Chat GPT」導入事例

横須賀市では、が提供する自治体用ビジネスチャットツールにChatGPTのAPI機能を連携させることにより、すべての職員が、普段業務で使用しているチャットツールにおいて、**文章作成、文章の要約、誤字脱字のチェック**、また**アイデア創出**などに活用できるようにします。



(横須賀市HPより) 2023.4.18



(横須賀市役所本庁舎)

ライター

なお、本リリースはChat GPTで下案を作成し、職員が校正を行いました。(リリース拡大)

※横須賀市の実証実験に関するニュースリリース

YOKOSUKA NEWS RELEASE



令和5年(2023年)4月18日

報道機関各位

横須賀市デジタル・ガバメント推進担当部長

自治体初！横須賀市役所で ChatGPT の全庁的な活用実証を開始

横須賀市役所において、「ChatGPT」の全庁的な活用実証を行います。

ChatGPTは、OpenAI社によって開発された、自然言語処理技術を活用し人工知能が自然な会話を行うことができるシステムです。AIと会話をしながら、質問に答えたり、文章を作ったり、言葉を翻訳したり、文章を要約することができます。

横須賀市では、(株)トラストバンクが提供する自治体専用ビジネスチャットツール「LoGoチャット」にChatGPTのAPI機能を連携させることにより、すべての職員が、普段業務で使用しているチャットツールにおいて、文章作成、文章の要約、誤字脱字のチェック、またアイデア創出などに活用できるようにします。これにより業務の効率化が見込まれるとともに、広く職員が活用していくことで、さまざまなユースケースを生み出していくことを期待しています。

なお、横須賀市では、ChatGPTへの入力情報が二次利用されない方式で使用し、また機密情報や個人情報は取り扱わない運用とし、情報の安全な取扱いを徹底します。

横須賀市では、「スマートシティ推進方針」、「横須賀市デジタル・ガバメント推進方針」に基づいて積極的にテクノロジーを活用し、様々な業務の効率的、効果的な実施を図っています。それにより、職員は、人にしかできない、人だからこそできる仕事に注力することで、市民の幸福を実現する取り組みを、進めてまいります。

なお、本リリースはChatGPTで下案を作成し、職員が校正を行いました。

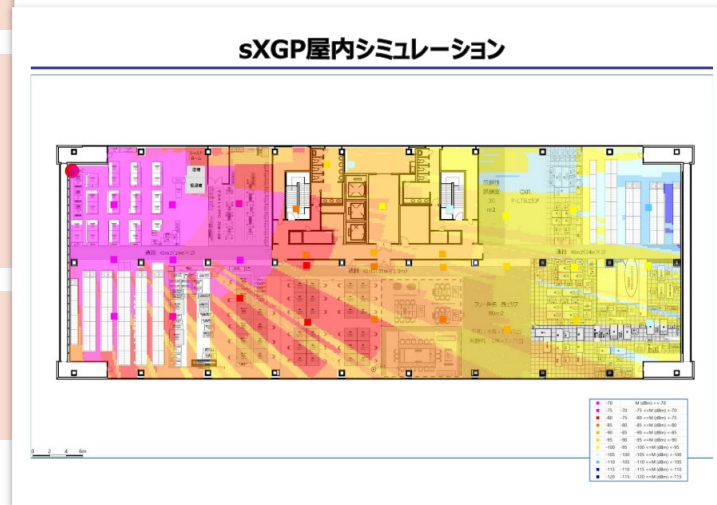
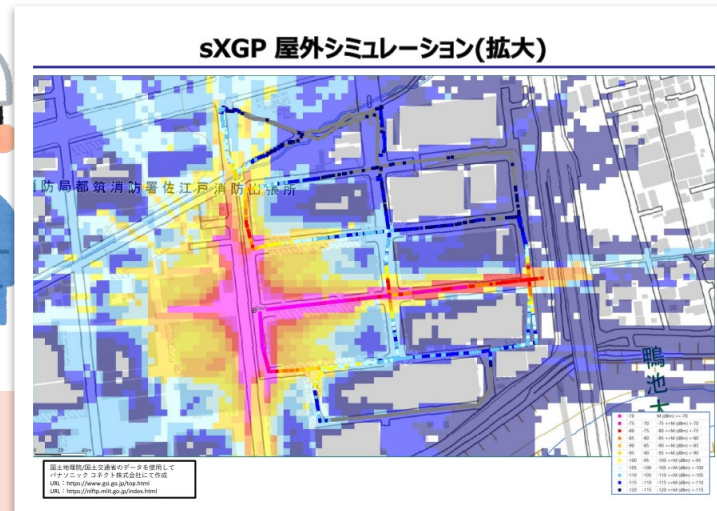
sXGP (LTE) 網によるPHS網の更新

東京都下水道局では、都内の約20拠点ある浄水場やポンプ場等で使用しているPHS内線網をsXGP(LTE)に更新する計画を進めています。

sXGP(LTE)に更新することで、音声通話だけでなく、スマートフォンやタブレット端末による**音声や地図情報(GIS)**を含めた**業務用データの通信**を可能にします。



資料提供: **Panasonic CONNECT**



砂町水再生センター (江東区新砂町)

・ 実施設計 (元請)
(一財) AVCC

・ 電波伝搬シミュレーション
& 電波伝搬調査協力
パナソニックコネクト(株)

・ 現地調査 & 図面作成協力
東京システム特機(株)

デジタル弱者支援サービス

テレポーサイ・サービス事業



事業の目的

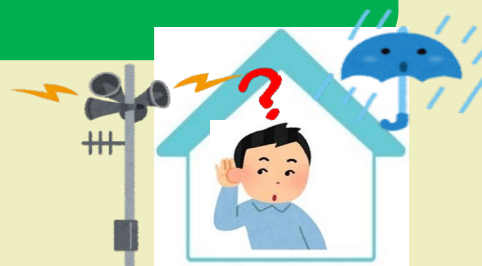
「誰も置き去りにしないデジタル社会の実現」を目的に 情報格差の是正を目指します。

情報端末の利用
による情報格差



- ・スマホ等の情報端末を持っていない
- ・スマホ等の情報端末の操作ができない

通信環境など
による情報格差



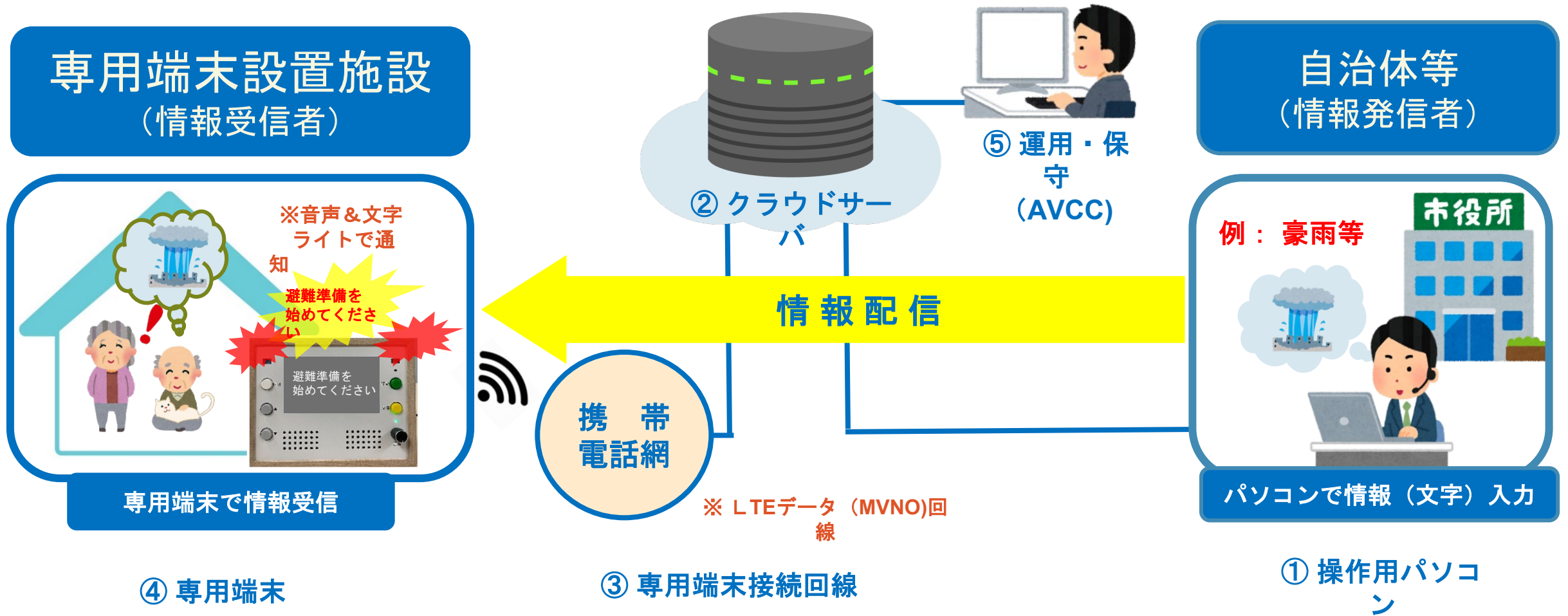
- ・光ファイバーやCATV網等がないエリア
- ・防災無線が聞こえない
- ・戸別受信機が受信できない

入手できる情報
による情報格差



- ・スマホは通話のみ。アプリの使い方、設定方法がわからない
- ・欲しい情報が入手できない

システム構成イメージ



テレボーサイ・サービス事業のサービス内容

「サービス利用環境」から「運用・保守」までトータルサポート

情報配信システム
利用サービス

+

専用端末
利用サービス

+

運用・保守
サービス

- ・ 情報配信／専用端末
等管理サイト

- ・ 専用端末の提供
(1団体200台程度想定)

- ・ コールセンター運営
- ・ 専用端末の故障時に
無償交換
- ・ 専用端末の通信費込
- ・ 操作研修 等

専用端末

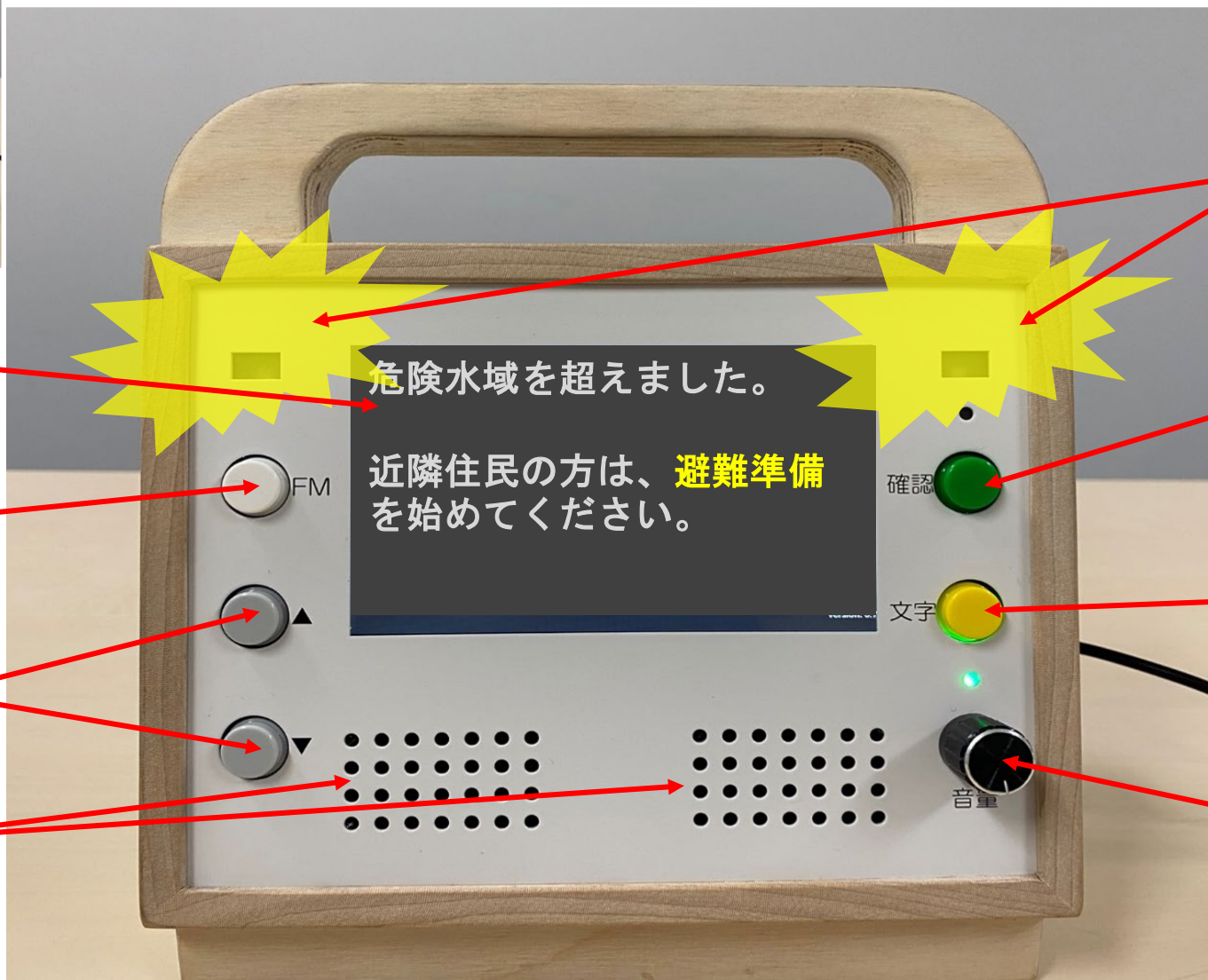


5インチ
カラーモニタ

FMチューナー

文字送りボタン
(上・下)

2wayスピーカ



LEDフラッシュ
ライト

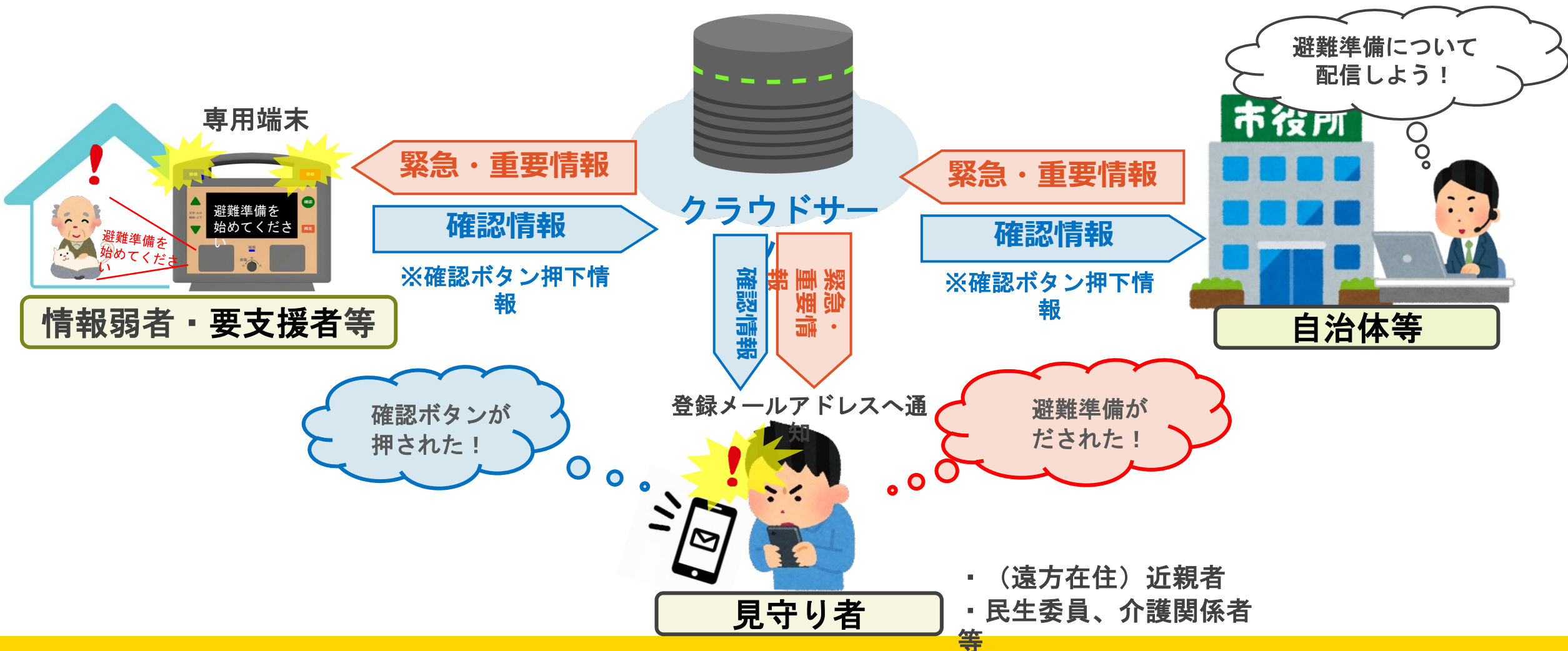
情報確認ボタン

文字サイズ
変更ボタン

音量ツマミ

見守り支援機能

専用端末利用者の緊急情報の確認を「見守り者」へメール通知します。



スケジュール

No	実施項目	令和5 年度											
		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
1	実証実験機製造 ／社内テスト	▶											
2	自治体等実証実験 (3～5自治体)				▶								
3	実証実験検証					▶							
4	量産体制整備						▶						
5	プレスリリース						▶						
6	サービス提供開始 (年度内試験運用)											★▶	

IoT道場

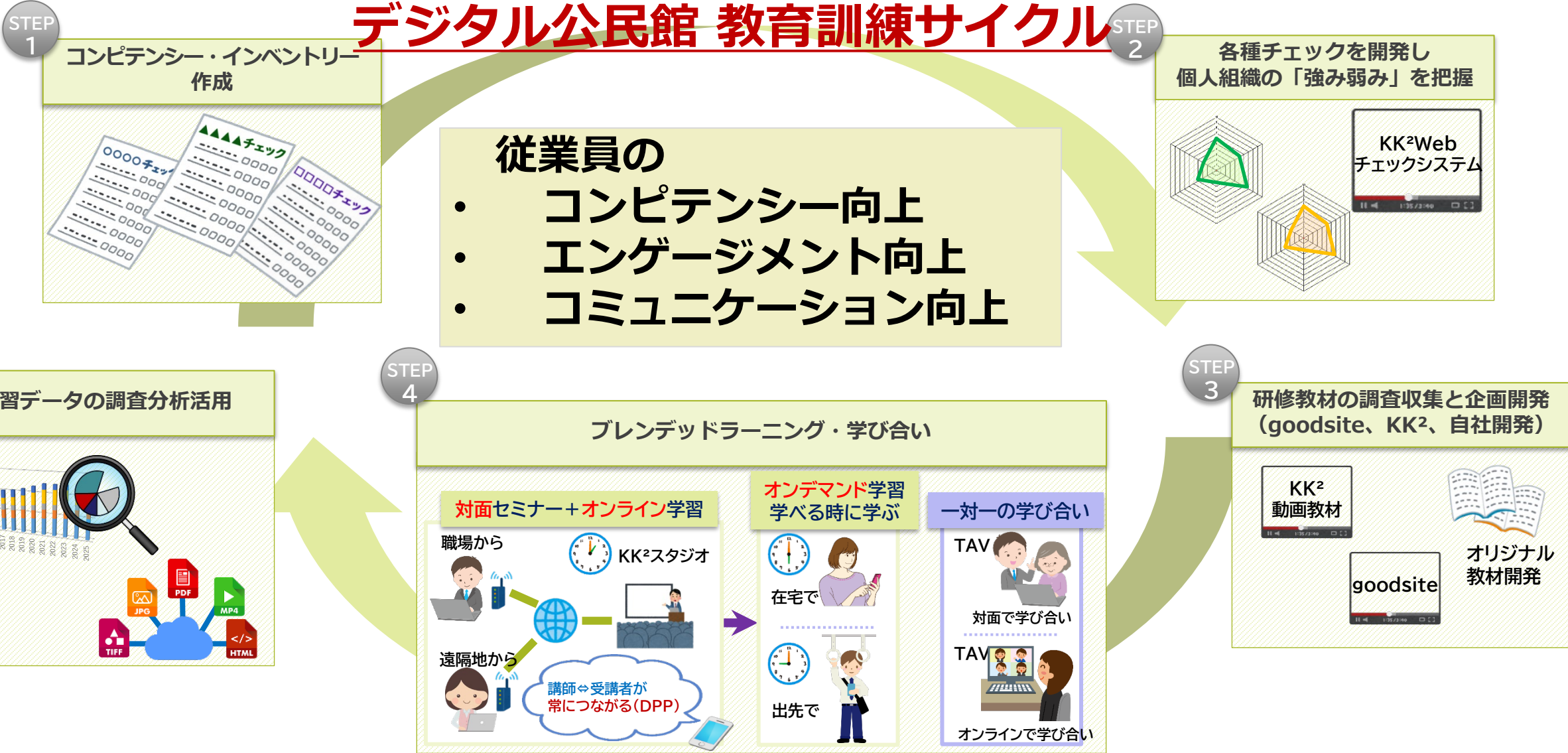
～ Raspberry PiとPythonでIoTに挑戦！～

教育イノベーション推進部

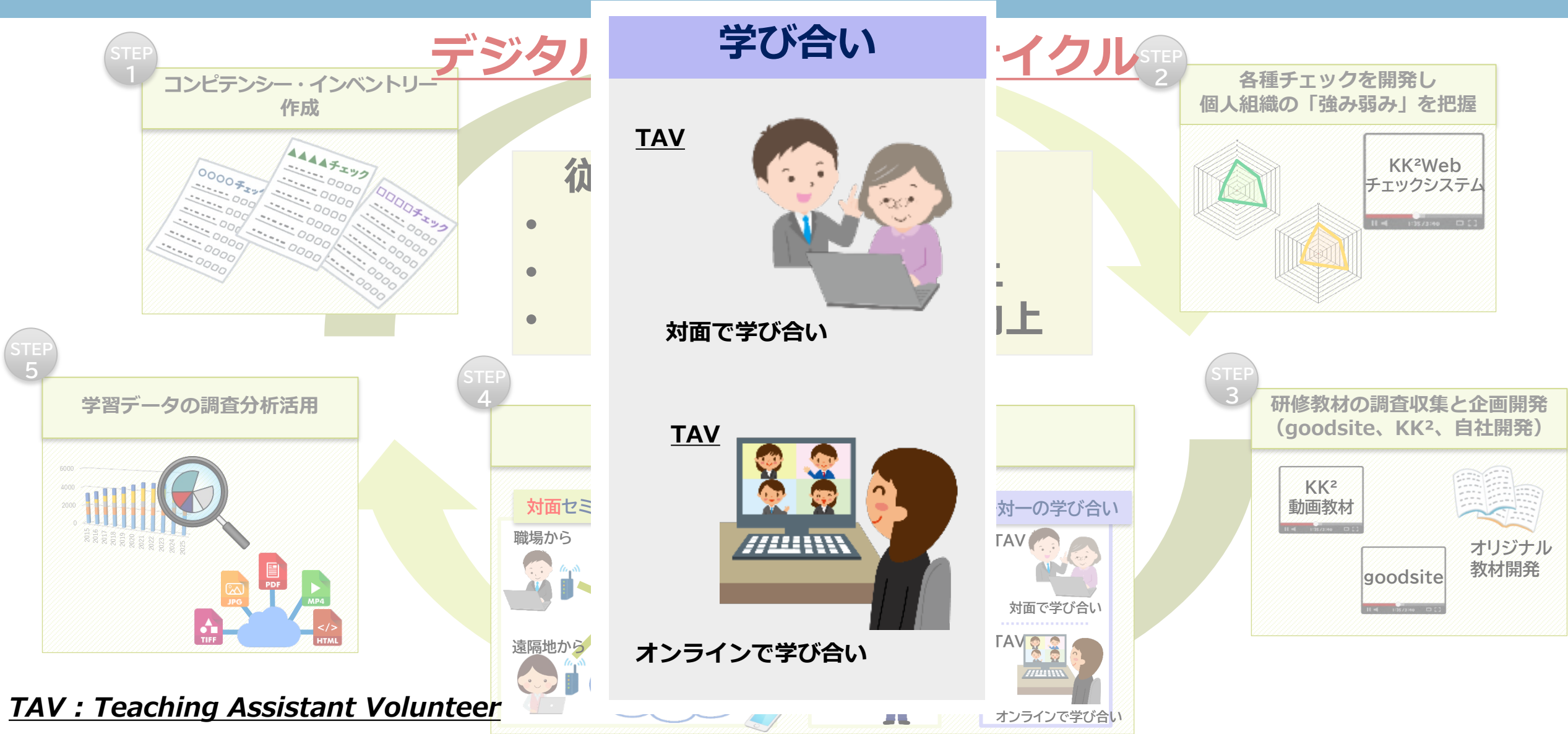
部長 相吉 透

01. デジタル社会をどう生きるか、どう働くか

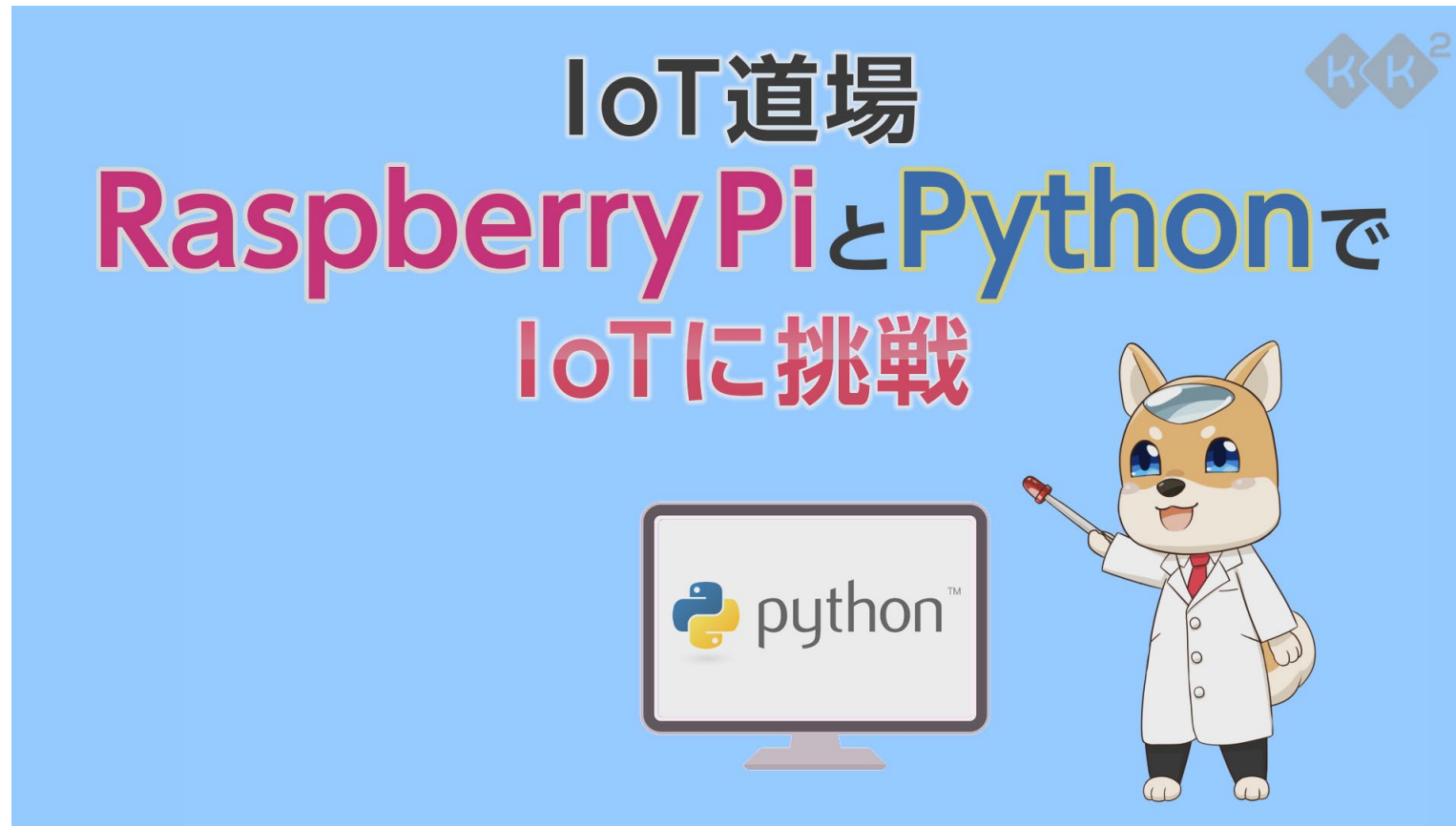
デジタル公民館 教育訓練サイクル



02. KK²ブレンデッドラーニングによる人材育成支援



03. IoT道場 ～Raspberry PiとPythonでIoTに挑戦！～ 紹介動画



IoT道場紹介動画



<https://www.kk2.ne.jp/kk2/seminar/digitalcommunity.html>

04. IoT道場 今後の開講予定

本日より申込開始

2023/10提供予定

Pythonを学ぶでみよう

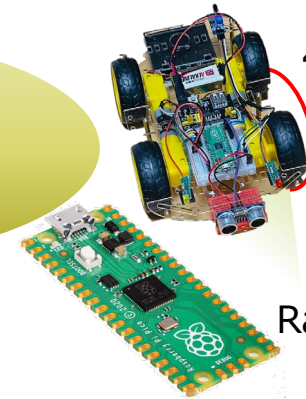
IoTをもっと楽しもう

Python
基礎講座

Python IoT
応用講座

Micro Python IoT
Raspberry Pi Pico

4WDロボットカー



Raspberry Pi Pico

お申込みはこちらのQRコードから

Python 基礎講座 (無料プログラム)



Python IoT応用講座 (有料プログラム)



Python
データ処理

Python
AI



Pythonを仕事に活かそう

2024/4以降順次

ご清聴いただき、ありがとうございます。

第三部で「IoT道場 ～Raspberry PiとPythonでIoTに挑戦！～」
のデモンストレーションを行います。

IoT道場の教材・テキストは宇治市にある「 楽々電子塾 Programming School」様にご協力頂いています。

お問合せ先

一般財団法人 AVCC IoT事務局

電話 : 03-3239-1121 (平日9:00~17:30)

Mail : iot@kk2.ne.jp



<http://elecwon.com/index.html>

